



平成 29 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 ネ ポ ン 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 福 田 晴 久
兼 代 表 執 行 役 員
(コード番号 7985 東証第 2 部)
問 合 せ 先 取 締 役 兼 執 行 役 員 捧 渡
管 理 本 部 長
(TEL. 03-3409-3159)

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異及び剰余金の 配当(特別配当の実施)に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 10 日付「平成 29 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表しました平成 29 年 3 月期(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)の連結業績値と本日発表の実績値との差異についてお知らせいたします。

また、当期の業績を踏まえ、平成 28 年 5 月 10 日付「平成 29 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表しました配当予想について下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期連結業績予想値との差異

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	7,700	180	170	80	6.68
今 回 修 正 予 想 (B)	7,544	269	252	147	12.34
増 減 額 (B-A)	△156	89	82	67	—
増 減 率 (%)	△2.0	49.4	48.2	83.8	—
(参考) 前 期 実 績 (平成 28 年 3 月期)	7,571	173	154	67	5.65

差異の理由

当社グループが主力としております熱機器事業の農用機器は、前期に実績のありました一昨年の雪害による復興事業が一巡し、さらに原油が引き続き低価格下落で推移したことにより施設園芸用ヒートポンプが出荷減と厳しい市場環境の中、積極的な営業活動に注力しました結果、売上高はほぼ前年並みに推移しました。損益面においては、利益率の改善により当初計画を上回る結果となりました。

2. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (平成 28 年 5 月 10 日公表)	前年実績 (平成 28 年 3 月期)
基準日	平成 29 年 3 月 31 日	同 左	平成 28 年 3 月 31 日
1 株当たりの配当金	3 円 00 銭 (うち特別配当 1 円 00 銭)	2 円 00 銭	2 円 00 銭
配当金総額	35 百万円	—	23 百万円
効力発生日	平成 29 年 6 月 30 日	—	平成 28 年 6 月 30 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

決定の理由

当社は、厳しい経済環境のなか将来の事業展開に備えて、企業体質の強化を図るための内部留保の充実に努めるとともに、安定的な配当水準を維持することを基本方針としております。

平成 29 年 3 月期の期末配当予想につきましては、配当金 2 円を予定しておりましたが、通期業績が当初予想を上回ったため、当初予想の 1 株当たり 2 円の普通配当に特別配当 1 円を加えた 3 円に決定致しました。

なお、本件につきましては、平成 29 年 6 月 29 日開催予定の第 70 回定時株主総会に付議する予定であります。

以 上